

# ひまわり



## もくじ

- 2 情勢 ~「戦後70年」に思う~
- 3 新年度がスタート!(各事業所より)
- 4 新メンバー紹介  
新コーナー「ちょっと聞いてよ!」
- 5 ゴスペルコンサート ご来場ありがとうございました!
- 6 賛助会更新・入会のお願い・時・ご寄付

2015  
MAY

Anointed mass choir ゴスペルコンサート 合唱構成詩

## 社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部: 〒621-0033 京都府亀岡市蕪田野町佐伯大門30-1

TEL: 0771-24-2596 FAX: 0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

# 西村 直

TADASHI NISHIMURA

社会福祉法人亀岡福祉会  
理事長

## 『戦後70年』に思う

### 今年重要な節目の年

「空襲警報がなりました。みんな防空壕に逃げました。怖かったです」（ぼれぼれ利用者Kさん）

「東京後楽園近くの防空壕で待機、東京湾の空母から飛び立ったB29とグラマンが真黒な群れをなして上空に襲来、焼夷弾（しょういだん）を雨あられのように次々と落とします。高台から見る東京はまさに火の海と化していました」（筆者の母親の体験談 92歳）

2015年度がスタートしました。今年には戦後70年、同時にあの阪神淡路大震災から20年、東日本大震災から5年と歴史の教訓を今後はどう生かすかを問い直す、いくつかの重要な節目の年にあたります。

### 忘れてはならないこと

第二次世界大戦は世界で5000万人、8000万人の犠牲者が出たと言われています。その内一般の市民の犠牲者は5000万人にも及んでいます（飢餓、病死も含め）。日本では全体で310万人、内50万人、100万人の一般市民の命が奪われました。前述のKさんの手記のようにここ亀岡も空爆を受け、終戦直前の東京大空襲で

は、昭和20年3月と6月の空襲で約18万人が犠牲になったのです。

ここで忘れてはいけないのは、戦争は他国民を殺戮（さつりく）して命を奪い、多くの障害者をつくりだす最大の悪行です。それだけでなく、過去の戦争では「国を守る」号令のもとで自国民の大量虐殺が行われた事実があるということ。ナチスドイツの侵略拡大の過程でヨーロッパ各国で570万人のユダヤ人が殺害された史実が明らかになっています。同時に25万人の精神障害を含む障害者が「防衛」を理由に殺害された事実をドイツ政府が公表しているのです。

日本での実態は未だに明らかにされていませんが、戦前・戦中に多くの精神障害者が「監禁」された状態で餓死した事実は明らかになっています。「おまえは戦争にも行かんと飯ばかりくって・・・」「わしは役立たずや！」前述のKさんは戦時中の体験や心境をこう語っています。

戦争は尊い命を奪い去るだけではなく、社会と人間個人の価値観をも狂わせてしまう最大の犯罪行為、それを市民を巻き込んで時の政権が引き起こす行為なのです。

「なんとか逃げまわって焼け落ちた自宅に帰る途中、多くの人が逃げ込ん

だ明治座で3000人の方が蒸し焼き状態。もう二度と戦争はしてはいけない。平和な社会を望む」と前述の母は綴っています。

### 「戦争に参加しない国」を これから

戦後70年、現在会期の国会では「安全保障法制」の議論が山場を迎えています。300万人の犠牲をどうこれらの国づくりに生かすのか、その前提としてあの戦争の猛省から頑なに守ってきた「戦争に参加しない国」を決して崩してはならないと思います。

20,000人の死者・行方不明者を出した東日本大震災、約6,500人の犠牲者を出した阪神淡路大震災、障害のある人の死亡率が2倍に及んだこれらの大震災も含めて、誰もがもつ命の重みは同じであること、その重みを平等に分け隔てなく受け止め、その命を守るために必要な仕組みをつくること、大切な節目にあたる今年、改めて問い直しをしたいものです。

将来にわたって「生まれてきてよかった、生きていてよかった」と心から言い合えるためにも。「わしはもう戦争はかなん」傘寿を終えたKさんの言葉が重く響きました。



# 新年度がスタート!

亀岡福祉会は37年目! みんなで力を合わせてがんばります!

## かめおか作業所

「みんなで仲良く助け合って仕事にがんばろう!」

「おはよう!!」と今日も元気いっばいな声が響くかめおか作業所は、今年度1名のメンバーと第三かめおか作業所から異動したメンバー1名、そして1名の職員を迎えました。職員のグループ内異動もあり、作業所全体がそわそわした雰囲気のスーッととなりましたが、今ではすっかり落ち着き、普段のかめおか作業所に戻りつつあります。

今年度、大きく分けて4つのグループ編成となりました。縫製・クラフトグループは、健康食品会社から受注を受けているコーヒースケットを中心に、ふきんやトートバッグ、ブックジャケットの製品づくり、食品加工グループでは、一昨年度立ち上げたブランド「丹亀」の生ふりかけや惣菜、漬物づくりを、下請けグループでは、ダイレクトメールや箱折りの仕事と、どのグループも大忙しの毎日です。

「みんなで仲良く助け合って仕事にがんばろう!」というメンバー自治会会長の言葉の通り、今年度もメンバー、職員一同、力を合わせ元気にかめおか作業所を盛り上げていきたいと思えます。どうぞよろしくお願います。

## 「仕事も笑顔もいっばいに!!」

## 第二かめおか作業所

作業所のまわりの桜が咲きはじめるとともに新年度を迎えました。

今年度から開所時刻を30分延長し、利用者たちは午後4時まで作業所で過ごすことになりました。日課も変わりました。

当初はそれまで通りの時刻に食堂前に集まったり、早く仕事を終わってしまったら……。

「まだですよ」の声がこちらで聞かれました。

「きゅりょうたくさんめざして みんなでげんきにがんばろう」を新しい目標に決めたグループさわさわ。「夏のボーナス取り組みに向けて、今から在庫を作っておこう」と力を入れています。「このちょうしで、パック、かん、ペット、かいしゅうをがんばろう」と目標を立てたりサイクルグループ。これまでよりさらにしっかりと資源処理をして業者さんへの引き渡し準備をどんどん進めています。

そんな仕事の勢いが、利用者たちの戸惑いを吹き飛ばしたかのようです。

班長や新しく選挙で選ばれた役員のもとで、間もなくポーナス取り組みが始まります。仕事に向かうみんなのまなざしの先にあるものを受け止めて、「今日の手ごたえ」をかみしめながら午後4時を迎えつつつけていくようにしたいものです。

## 第三かめおか作業所&デイセンターぼれぼれ

「たくさん商品をつくるぞ!」

「毎日健康に通いたいです!」

今年度、第三かめおか作業所では、支援学校を卒業した新しいメンバー3名とかめおか作業所から移ってきたメンバー1名、そして新しい職員1名を迎えました。「休まず仕事するぞ」「たくさん商品をつくるぞ」とみんなで声をかけあい元気いっばいの新年度がスタートしました。

そんな元気なメンバーの姿を見て、同じ施設内のぼれぼれでは、毎朝「おはよう」と満面の笑顔みせて通所しているメンバーの姿があります。いつもとは違う元気な雰囲気の新年度を迎えました。

4月6日には、第三・ぼれぼれ合同で、お花見歓迎会を開く予定でした。あいにくの雨模様となりさくらホールにての開催となりました。みんなで美味しいお弁当や花見団子を食べたり、ミニゲームをしたりしてのんびりと楽しいひと時を過ごしました。

今年も、メンバーの《夢・願い》にむかって両事業所ともがんばってとりくんでいきます。

亀岡福祉会の  
ニューフェイス

# 新メンバー紹介



## かめおか作業所

永井 友梨(ながい ゆうり)さん

仕事をがんばります!



中川 勝巳(なかがわ かつみ)さん

一生懸命 仕事をがんばります!



松山 稔(まつやま みのる)さん

一般就労に早く就けるようがんばります!



今西 亜香音(いまにし あかね)さん

早く仕事に慣れてお金を稼ぎます

## 第三かめおか作業所

## 新コーナー

# 「ちょっと聞いてよ!」

## 第1回

梶巻 一夫さん  
(デイセンターぼれぼれ)



このコーナーでは毎号1人の方にスポットを当て、その方の「ちょっと聞いてほしいこと」「これだけは言わせてほしい!」「ことなどを紹介していきたい!」と思います。第1回はデイセンター「ぼれぼれ」に通所しておられる梶巻一夫さんです。

梶巻さんは先日の「ゴスペルコンサート」で発表された合唱構成詩で亀岡福祉会との出会いやこれまでその人生を紹介されました。今回はその時の感想や、毎日の思いについて語っていただきました。

構成詩で梶巻さんの人生を紹介すると聞いた時の感想は? 梶巻 とてもうれしかったです。

構成詩の練習では毎回涙でセリフが言えませんでしたね。梶巻 ナレーションでわしのことを紹介しているのを聞いて胸が熱くなったんや。苦労したことも思い出したけど、悲しい

泣いただけちゃうで。作業所に会った時の嬉しさとかを思い出して涙が出たんです。

コンサート当日の感想はいかがでしたか?

梶巻 とても緊張しました。緊張の方が強くて当日は涙が出んかったわ(笑)たくさんの方がわしのことや作業所のことに関心を持って聞いてくれて本当に嬉しかったです。

それでは次に、ぼれぼれについて伺います。梶巻さんにとってぼれぼれはどんなところですか? 梶巻 毎日楽しいです!私にとつて生きがいになっていきます!「もう来なくていい」と言われなくても行きます(笑)

ぼれぼれで一番楽しいことは何ですか?

梶巻 年に1回の旅行が何より楽しみやなあ。毎日色々な活動をしてどれもお好きやけど、朝来た時にみんなの笑顔に迎えられることが一番幸せです。

ひまわりを読んでくださっている方に「これだけは言いたい!」ということがありますか?

梶巻 私は死ぬまでずっとあゆみ荘で暮らしたい!と思っております。その思いは是非みんなに知ってもらいたいです!

梶巻さんはグループホームあゆみ荘で生活されています。



# Anointed mass ゴスペルコンサート

## たくさんのご来場ありがとうございました!



合唱構成詩では職員、メンバーがKさん役などを演じたり、スクリーンを使用したりしながら紹介しました



会場前には事業所紹介など様々なパネルを展示しました

4月12日(日)、ガレリアかめおかにAnointed mass choir「ゴスペルコンサート」が行なわれました。6回目となる今回もたくさんの方々に応援をいただき、600名近いお客様にお越しいただくことができました。コンサート第一部では福祉社会が誇る生き字引、Kさんの人生にスポットをあて、寸劇にしました!!戦時中からはじまる彼の人生はまさに亀岡の福祉の歩みそのもの。練習中には当時を思い出し涙するKさんの姿がありました。そんな昔を経て今では深みのあるイイ笑顔でみんなを和ませてくれます。第二部ではアノインテッドの皆さんによるゴスペルコンサートです。150名を超える歌声は圧巻の一言。圧倒的な歌声に包まれ、じんわり温かくなる、心に染みる歌声でした。

ご来場いただいたお客様からは「亀岡でこんな大きなゴスペル(コンサート)が聴けるなんて!!」「素晴らしいコンサートでした。感動をいただきました。ありがとうございます」「元氣の出るとってもいいコンサートでした」「とても良かったです。優しい街でありたいとしみじみ思います」「オープニング(第一部)の歌声から涙が出そうになった」とお声をいただいています。

東京から大阪まで、この日のためにご来場いただいた方々と音楽や舞台を通じつながる、大切にステキな時間をこれからも皆さまと一緒に創っていきたくたい。改めてそう思いました。

来場したお客様、メンバーも大盛り上がり



最後はメンバーもステージに上がり『ピリブ』を大合唱しました!



Anointed mass choirさんによる圧巻のステージ

お知らせ

## きょうされん賛助会入会・更新のお願い

2015年度が始まりました。障害福祉政策では、昨年度に「障害者権利条約」が批准され、障害のある人もない人も安心して暮らすことができる地域づくりへの一歩を踏み出しました。しかし障害者福祉制度はまだ不十分な点も多く、障害のある人が安心して暮らすためには多くの課題があります。

私たちは「きょうされん」と共に、障害福祉制度が、障害のある人の願いに応える制度になるよう、国会への請願署名をはじめ様々な取り組みを行っています。このようなきょうされんの活動は、全国31,000口(京都では4,000口)の賛助会員の皆さまに支えられています。また賛助会費は、独自の資金で活動しているきょうされんを支える重要な役割を担っています。ぜひ賛助会員になっていただき、私たちに応援していただくよう、心からお願いいたします。

またすでに賛助会へ入会されているかたは、今年度も引き続き賛助会員の更新をお願いいたします。

<賛助会年会費> 個人1口:3,000円 団体1口:6,000円

賛助会員の方へは、「月間きょうされんTOMO」を毎月お届けします。

あわせて、京都支部機関誌「よいしょ」を年6回お届けします。

お問い合わせ先:社会福祉法人亀岡福祉会 第二かめおか作業所(担当:檜原)

TEL:0771-26-5434 TEL:0771-26-2173

いつも「ひまわり」をご愛読いただき、ありがとうございます。

引っ越し等で住所が変わられた方は、お手数ですが下記までご連絡ください。

ご連絡先:社会福祉法人亀岡福祉会 かめおか作業所(担当:佐古)

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

## 時

亀岡に住んで4年が過ぎました。今のご近所さんとはとても仲がよく、子供たちは各家にお泊りしたり、5家族で山口県まで旅行に出かけたりしています。周りにはびっくりされていまずが、それぐらい仲がいいのです。きっかけは、母親つながりではなく父親つながりというのんびりくりの一つ。そのおかげか時には毎週のように集まっでは楽しく親も子も過ごしていることもありまう。他人の子でもダメなことは、怖いご近所のおじさんまでもいかなくても、しかってくれ、ときにはうん作りなど普段できないことを経験させてもらった。兄弟のようです。

いろいろな事件などがあって、こわい世の中ではありませんが、ご近所の温かい目があることで、お互いの親も安心して過ごせる地域が増えるといいですね。

(S)

## 懸賞クイズ 3月号の答え 「 」

<当選者>

丸谷 知生 様

ご寄付 3月/4月

4 / 15	有馬 様	お菓子
3 / 2	山本 京子様	金一封

ご寄付ありがとうございました。